



発行
新川高校図書委員会
令和8年6月号

編集
図書情報部



紫陽花が雨にぬれる美しい季節になりました。青々と広がる水田も初夏の風にゆれていきます。体育祭は思い切り楽しめましたか。結果はどうであれ、みんなと一緒に頑張ったことは一生の思い出になるでしょう。一度しかない今この時を精一杯やっていきましょう。そうすれば自分の進むべき道が見えてくるかもしれません。

春の読書週間について

5月25日（月）～6月5日（金）の春の読書週間では、小説『セメント樽の中の手紙』についてディスカッションをしたり、展示「戦争」に関するクイズを行ったりしました。

5月29日（金）に実施された読書会では「恋人を失った女工（手紙の書き手）が気の毒だ」という感想にとどまらず、労働者が悲惨な事故に巻き込まれる当時の社会状況への疑問、さらには作者がプロレタリア文学を通じて社会に訴えたかったことについて意見を出し合うなど、深い読みをする参加者もいて、有意義な時間となりました。

読書週間中には本を借りに来る生徒の姿をいつもより多く目にすることができ、本に出会うきっかけになったことを嬉しく思います。これからも図書館に足を運んでくださいね。

七夕フェア

図書館では、7月1日（水）～7月15日（水）に、毎年恒例の七夕フェアを行います。笹を笹飾りや短冊で飾ります。皆さんも願い事を書きに来てください。さらに、フェアの期間中、スタンプカードを用意します。本を1冊借りるごとに、スタンプが1つもらえます。スタンプを5つためると、もれなく景品がもらえます。ぜひご参加ください。

展示ケース

図書館の中の展示ケースでは、前回好評だった「嵐」についての展示を再び行っています。展示ケースに飾るコレクションは随時募集しています。自作品、収集品等何でもOKです。また、2年生が修学旅行で訪れるUSJに関連するもの（スーパーマリオ、ハリーポッター等）も募集中です。ご協力をお願いします。

特集コーナー

サッカーワールドカップに関する書籍を特集コーナーにまとめました。日本代表選手や監督の言葉は心に響くものがあります。ぜひ見に来てください。

ビブリオバトル

7月17日（金）12:30から図書館でビブリオバトルを行います。本を愛する人々が自分の推しの本を紹介します。勝敗を決めるのは観客の皆さんです。発表を聞いて、よかったと思う本に一票を投じてみませんか。優勝者は新川高校代表として県大会に出場する予定です。当日自由参加できますので、ぜひ聞きに来てください。

図書委員お薦めの本

『死の森の魔女は愛を知らない』（浅名ゆうな）

【1年図書委員】

この物語は、孤独な魔女が人の温かさに触れていくファンタジーです。人を寄せ付けない「死の森」の奥深くには、冷酷非道と恐れられる魔女が住んでいました。しかし、その正体は亡き祖母の後を継いだ若き薬師のリコリス。彼女は過去のトラウマから心を閉ざし、他人の愛や情を信じずに生きてきました。ある日、彼女のもとに毒薬を求める王弟をはじめ、様々な事情や傷を抱えた人々が訪れるようになりました。リコリスは、彼らの切実な願いや、使い魔ノアの健気さに触れるうちに、頑なだった心を少しずつ開いていきます。恐れられながらも誰よりも不器用で優しい魔女が、人との関わりを通して本物の愛を知っていく切なくて心温まる物語です。ぜひ、手に取ってください。

『注文の多い料理店』（宮沢賢治）

【1年図書委員】

2人の若い紳士がイギリス兵の姿で、ぴかぴかする鉄砲をかついで、白熊のような犬を2匹連れて山に狩りにやってきました。しかし、獲物は全く見当たらず、いつの間にか帰れなくなってしまいました。そこで見つけたのが西洋料理店。「当軒は注文の多い料理店ですから、どうぞ承知ください。」とあります。

どんな料理店なのかなと楽しい雰囲気から段々と不穏になっていく変化と、どんな結末になるのかという期待感が、読んでいて面白かったです。「注文が多いうってこういうことか!」とタイトルの意味も分かってきます。少し懐かしい気持ちになれる文体で、短く読みやすいので、初めて読む方にもお薦めです。ぜひ一度読んでみてください。